

「乾癬患者における血清 IgA 値と腎機能の関連性の検討」 に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間: (2019年7月18日) ~ 2022年3月31日

〔研究課題〕

乾癬患者における血清 IgA 値と腎機能の関連性の検討

〔研究目的〕

乾癬患者さんは慢性腎機能障害のリスクが高い事が知られています。本研究の目的は乾癬患者さんにおける血清 IgA 高値が慢性腎機能障害に関連しているかどうかを検討します。

〔研究意義〕

近年乾癬と慢性腎機能障害の関連を示唆する臨床研究が報告されています。また、乾癬患者さんにおいて免疫グロブリンの血清 IgA という蛋白が高値を示す例が散見されます。IgA は IgA 腎症等の腎機能障害の原因となりうる因子ではありますが、これまで本邦で乾癬における血清 IgA 値と慢性腎機能障害について検証した報告はありません。今回、乾癬患者さんの血清 IgA 値と腎機能障害の関係について検討することで、新たな腎機能障害の予測因子になる可能性があります。

〔対象・研究方法〕

2016年4月から2018年3月までに帝京大学医学部附属病院皮膚科を受診した乾癬患者さん 50-70名（血清 IgA 基準値の 20名、血清 IgA 高値の患者が 30~50名）が対象となります。それぞれの患者さんの血清 IgA 値と血清クレアチニンや推算糸球体濾過量をカルテから後ろ向きに収集し、血清 IgA 値と腎機能障害の相関関係を検討します。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院 皮膚科

責任者：帝京大学医学部皮膚科学講座 主任教授 多田弥生

〔個人情報の取り扱い〕

個人情報は厳重に管理されます。学会や論文など学外へ情報を発表する際には匿名化を行うため、患者さんが特定されることはありません。対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。ご協力よろしくお願い申し上げます。

問い合わせ先

研究責任者：帝京大学医学部皮膚科学講座 主任教授 多田弥生

研究分担者：准教授 鎌田昌洋、シニアレジデント 高浜由美子

住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211

(代表) [内線 32610]